

工事休館中のクアーズテック秦野カルチャーホールが贈る、文化会館の出張コンサート in タウンニュースホール

加藤雅彦プロデュース ティータイムコンサート vol.22

# Tea Time Concert

ヨーロッパを旅する名曲とおしゃべりのひと時

古川貴子ピアノリサイタル



予定曲目 2部制・休憩あり

ショパン：バラード 第1番、ベートーヴェン：ピアノソナタ 第14番「月光」、  
ドビュッシー：亞麻色の髪の乙女、リスト：愛の夢 第3番 ほか

2026年

1月25日

午後2時開演

(午後1時30分開場／午後3時30分終演予定)

予約制・観覧料 2,500円 ※出張コンサートはデザートセットは付きません

出張先コンサート会場：東海大学前 タウンニュースホール

(出張先会場の案内図は裏面にございます)

ご予約  
お問合せ

クアーズテック秦野カルチャーホール 事務室 ☎0463・81・1211  
休業日／毎週火曜日、11/26、12/29～1/3、1/14 営業時間／午前9時～午後5時

## 出演者 Profile

### ● 古川貴子 (ふるかわ・よしこ)

神奈川県立秦野高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ科を同声会賞を得て卒業、同大学大学院修士課程修了。2009年秋に渡独し、エッセン・フォルクヴァンク芸術大学マスター・プロフェッショナル・パフォーマンス課程、マスター・現代音楽課程を修了。ミュンスター音楽大学にてドイツ国家演奏家資格取得。2017年第6回トロイスク・ドルフ国際ピアノコンクールにて優勝、2016年第13回シーベルト国際ピアノコンクールにて第4位 (ドルトムント)、2015年スタインウェイ・ピアノ・コンクールにて満場一致の第1位 (ミュンスター)、2013年第3回アンドレア・バルディ国際ピアノコンクールにて第1位 (ボローニヤ)、2012年第21回ジャンルカ・カンポキアーロ国際コンクールにて満場一致の第1位、併せて特別賞、エベラール賞を受賞 (カターニア)、その他にも多数の国内外のコンクールにて入賞を重ねている。2014年ドイツ・ショパン協会主催リサイタル (コトブス)、2011年リサイタルシリーズGroße Klaviermusik (デュイスブルク)への出演をはじめ、エッセン、ミュンスター、ミュルハイム、バーデン=バーデン、ガッゲナウ等のヨーロッパ各地にてソロリサイタルに出演。また2013年エミリア・ロマーニャ音楽祭(ペーザロ)にソリストとして招聘され、好評を博す。WDR3(西ドイツ放送)にて演奏が度々放送される他、グラッドベックとガッゲナウでのコンサートにおけるシーベルトの演奏は紙面にて絶賛された。近年日本では、2012年東京藝術大学の推薦により山田耕策の所有していたスタインベルク・ピアノの修復記念コンサートに出演する他、2014年山田和樹氏とサンサーンス・ピアノ協奏曲第5番「エジプト風」を共演、2016年カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」において東京藝術大学同声会コンサートシリーズとしてリサイタルを行った。また文化庁委託事業・日本演奏連盟主催「新進演奏家育成プロジェクト」リサイタルシリーズのオーディションに合格し、2016年に東京文化会館小ホールにてリサイタルを開催。同年、福井大学公開講座、さかい九頭竜音楽祭に出演。2017年山田和樹指揮・東京混声合唱団の伴奏を務めた。これまでにソリストとして、山田和樹、岩下光樹、ファブリツィオ・ヴェンチューラ、スタニフラフ・ヤヴォンスキ、イアン・ファウンテン、マリオン・ウッド、セミ・ファン、セルゲイ・ボルクホーヴィチの各氏、ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団、グラスパー・レンシュピール・シンフォニエッタ (タリンシンフォニエッタ)、N響団友オーケストラ、シュトローゴイ交響楽団等、数多くの国内外のオーケストラと共に演奏。室内楽奏者として、ウルリッヒ・ベーツ氏をはじめ著名な演奏家と共に演奏を重ねている他、近年はハンマーフリューゲル(フォルテピアノ)の演奏も精力的に行っている。これまでに、ピアノを江崎光世、青柳晋、三宅麻美、アルヌルフ・フォン・アルニム、ミヒヤエル・ケラーの各氏に、室内楽を迫昭嘉、藤森亮一、ディルク・モンメルツ、クリストフ・リヒターの各氏に師事。2020年7月、ドイツより完全帰国。現在は、多数のコンクールの審査員を務め、多くの入賞者を輩出している。神奈川県立相模原弥栄高等学校非常勤講師。



### ● 出張コンサート会場案内図 ●

東海大学前駅南口徒歩1分。駐車場には限りがありますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

住所：秦野市南矢名1513 タウンニュースビル3F タウンニュースホール

